

研究委員会グループ活動報告

公益社団法人地盤工学会関東支部
研究委員会グループ
リーダ幹事 王寺秀介

研究委員会グループ幹事会構成メンバー

役職	氏名	所属
リーダ幹事	王寺 秀介	中央開発株式会社
幹事	平松 登史樹	基礎地盤コンサルタンツ
	早野 公敏	横浜国立大学
	三上 武子	一般財団法人 GRI財団
	平岡 伸隆	労働安全衛生総合研究所

各研究委員会から中心メンバー（委員長・幹事長・幹事等）が参加しています

研究委員会グループについて

地盤工学会関東支部では、

- 関東地域に特有の地盤工学上の課題**
- 支部で検討することが必要な技術課題**
- 緊急に究明すべき工学的課題など**

様々なテーマについて「研究委員会」を組織して、活動してきました。

研究委員会の3つのタイプ

①研究委員会

与えられた研究テーマについて調査・研究活動を行う。活動期間は原則3年間（成果の普及活動等のために、活動期間を延長できる）。

【現在】4つの研究委員会と1つの成果普及活動委員会が活動中

②調査検討会（H22年度から設置）

与えられた研究テーマの範囲が狭いもしくは萌芽的である等と判断される場合に、活動期間を1年～2年と短めに設定して、その間に研究委員会としての設立可能性を検討する。

【現在】活動なし

③特別委員会（H23年度から設置）。

特別に時限付きで対応する必要が出てきた研究テーマを対象（公共機関等からの調査依頼に基づく受託研究等）

【現在】活動なし

活動中の研究委員会

- (1)中空ねじりによる液状化強度試験の高精度化に関する研究委員会**（令和2年度～令和5年度）委員長：清田 隆
- (2)無機系吸水性材料を用いた土の改質技術の利活用に関する研究委員会**（令和2年度～令和5年度）委員長：早野 公敏
- (3)防災戦略の意思決定プロセスに資する総合的な自然災害安全性指標（GNS）実現に関する研究委員会**（令和3年度～令和5年度）委員長：伊藤 和也
- (4)地盤情報を活用した気候変動が地盤災害リスクに与える影響の研究委員会**（令和5年度～令和7年度）委員長：王寺 秀介

活動中の成果・普及活動委員会

- (1)液状化に係わる被害のメカニズムと名称を考える委員会**（令和元年度～令和4年度）委員長：吉田 望